

異物混入の解析

異物混入の解析手法

観察+異物採取+分析+レポート作成

電子デバイス・食品、その他さまざまな分野において、永遠のテーマである異物対策。異物の発生源を特定し問題を解決するためには、最適な分析手法の選択、それに加えて微小な異物をいかにサンプリングするか重要です。

1 観察（光学顕微鏡など）

マイクロスコープ、光学顕微鏡などを使って異物を観察し形状、状態を確認する。有機系（FT-IR 成分分析）無機系（SEM-EDX）か判断し 最適な分析方法を選択します。

2 異物採取（精密マニピレータ）

人の手では採取困難な数umの異物をサンプリングします。

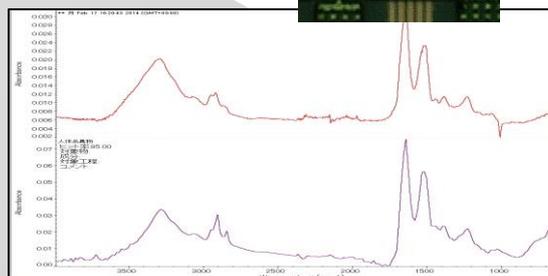
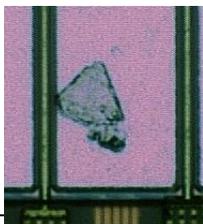


3 有機系の分析

FT-IRで成分分析を行います。有機物質の赤外線吸収量から試料の分子構造を特定します。

■ 実例

アミド基を示唆する結果であり人体起因と推定



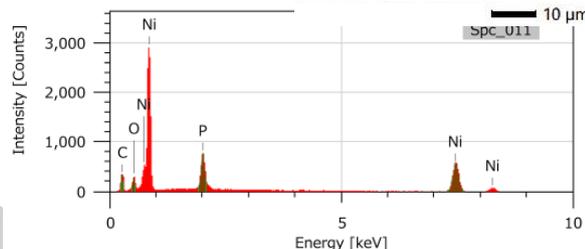
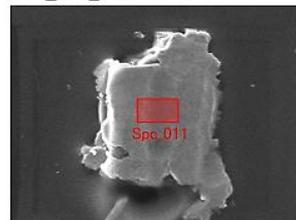
4 無機系（金属）の分析

SEM-EDXを使用しての観察を行います。

■ 実例

Ni元素 P元素を検出
無電解ニッケルメッキ層と対象
異物を特定

Sem_SED_011



ご相談およびご依頼の内容は、機密厳守を第一に細心の注意を払っています。特にご要望の場合は秘密保持契約をさせていただきます。